

桜と未来、咲き乱れる日

2021 年の新入生が大学に足を運ぶことは当たり前になっているでしょうか。

2020 年の新入生は入学したときからコロナが流行りだし、桜の咲き乱れた大学の歓迎の姿を見ることができませんでした。現在もコロナの脅威は留まることを知らず、来年も新入生が大学の咲き乱れた桜の下をくぐることが叶うかわかりません。私が大学 1 年生の時、この満開の桜をみて心を躍らせた記憶があるのですが、それを見ずに学校生活をスタートしてしまうのはあまりにも寂しいことです。

このパンフレットは、満開の桜と同様、大学生活をスタートさせる日を想起させるもののひとつです。そんなパンフレットに、新たな生活のスタートを歓迎する桜の姿とその奥にそびえる 37 号館の校舎が描かれることで、大学を訪れなくともこれからの大学生活への期待を膨らませることができるようにという意味を込めています。

また、表紙の校舎は生産工学部 9 学科の色で染められています。それぞれの学科の個性はもちろん、学校生活を通して新入生それぞれの個性が輝くようにという願いを込めています。

2021 年の新入生が裏に描かれた桜のように力強く根をのばし、未来で咲き乱れることのできるよう応援しています。

